

平成 2 1 年度  
福岡市 公共事業再評価 資料

番号①：大浜地区住宅市街地総合整備事業「密集型」「拠点型」

番号②：御供所地区街なみ環境整備事業

番号③：名島城址公園整備事業

番号④：中央ふ頭地区道路①整備事業

# 再 評 価 資 料

## ①大浜地区住宅市街地総合整備事業 「密集型」 「拠点型」

国土交通省所管

住宅市街地総合整備事業

福岡市 住宅都市局

## 平成21年度 事業再評価総括表

<b>整理番号</b>	①	<b>事業名</b>	大浜地区住宅市街地総合整備事業「密集住宅市街地整備型」				
<b>事業主体</b>	福岡市	<b>事業種別</b>	住宅市街地総合整備事業補助				
<b>担当課</b>	住宅都市局住宅政策部都心居住・博多部振興室						
<b>事業概要</b>	<b>施工箇所</b>	福岡市博多区大博町及び下呉服町の一部			<b>事業規模（当初）</b>	10.6 ha	
					<b>（現時点）</b>	10.6 ha	
	<b>事業採択年度</b>	平成12年度	<b>用地買収着手年度</b>	-		<b>工事着手年度</b>	平成17年度
	<b>当初</b>	<b>完成予定年度</b>	平成22年3月	<b>総事業費</b>	10.9億円	<b>残事業費</b>	- 億円
	<b>現時点</b>	<b>（現時点）</b>	平成26年3月	<b>（現時点）</b>	10.9億円	<b>（現時点）</b>	10.4億円
	<b>費用対便益（当初）</b>	<b>便益（B）</b>	137億円	<b>費用（C）</b>	89億円	<b>B/C</b>	1.54
<b>（現時点）</b>	<b>（現時点）</b>	138億円	<b>（現時点）</b>	79億円	<b>（現時点）</b>	1.75	
<b>1. 事業の目的</b>							
<p>大浜地区は、北側の一部と東側の半分は戦災にあわなかったことから、戦災復興土地地区画整理事業の施行区域から除外され、その後も整備がなされず、道路が狭く、老朽住宅が密集した状況にあり、防災上、住環境上の課題を抱えている。</p> <p>これらの地区の課題を改善すべく、「大浜まちづくり協議会」と協働し、助成制度を活用した老朽住宅の建替えを促進するとともに、道路・ポケットパーク等の整備により住環境の改善を図ることを目的としている。</p>							
<b>2. 事業の進捗状況</b>							
1. 経緯							
<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成12年 2月 大浜地区密集住宅市街地整備促進事業の整備計画承認</li> <li>○平成12年11月 大浜地区密集住宅市街地整備促進事業の事業計画報告（補助事業採択）</li> <li>○平成14年 2月 大浜地区の地域ルールに基づく建築協定の策定</li> <li>○平成21年 3月 密集住宅市街地整備促進事業と住宅市街地整備総合支援事業の統合に伴う、事業名称及び事業期間の変更</li> </ul>							
2. 事業の進捗状況							
<ul style="list-style-type: none"> <li>○老朽住宅の建替促進助成（H14年度） 1件 6戸（全体 除却36戸 建設83戸）</li> <li>○道路整備（H17年度） 大浜小学校跡地内道路 L=66m（全体330m）</li> </ul>							
3. 進捗率							
<p style="text-align: center;">事業費ベース 約5%</p> <p>残事業○老朽住宅の建替促進 除却35戸 建設77戸 ○老朽建築物除却 住宅23戸 非住宅3棟 ○道路整備 L=264m ○ポケットパーク 約100㎡</p>							
<b>3. 事業を巡る社会情勢等</b>							
<p>大浜地区は、老朽家屋が密集し、また道路も狭いため、防災上や住環境上の観点から、助成制度を活用した老朽住宅の建替えや、道路整備等を早期に進めていく必要がある。</p>							
<b>4. 今後の方針</b>							
<p>事業継続</p> <p>当事業は、大浜地区の防災性の向上や居住環境の改善を図るうえで重要であり、今後も国及び市の助成制度を積極的にPRするとともに、市の相談会等により地権者の意向を十分に把握しながら地域ルールに沿った建替え促進事業を推進していく。また、残る道路整備箇所については、大浜地区住宅地区改良事業の進捗にあわせて整備するとともに、災害時の避難場所となる街区公園へのルートを重点的に整備を進めていく。今後も、地元及び関係地権者の同意を得ながら平成25年度の完成に向けて当事業を推進していく。</p>							
<b>5. 委員会意見</b>							
事業継続							

## 平成21年度 事業再評価総括表

<b>整理番号</b>	①	<b>事業名</b>	大浜地区住宅市街地総合整備事業「拠点開発型」				
<b>事業主体</b>	福岡市	<b>事業種別</b>	住宅市街地総合整備事業補助				
<b>担当課</b>	住宅都市局住宅政策部都心居住・博多部振興室						
<b>事業概要</b>	<b>施工箇所</b>	福岡市博多区大博町及び下呉服町の一部			<b>事業規模（当初）</b>	7.5 ha	
					<b>（現時点）</b>	7.5 ha	
	<b>事業採択年度</b>	平成14年度	<b>用地買収着手年度</b>	-		<b>工事着手年度</b>	平成15年度
	<b>当初</b>	<b>完成予定年度</b>	平成21年3月	<b>総事業費</b>	7.1億円	<b>残事業費</b>	- 億円
	<b>現時点</b>	<b>（現時点）</b>	平成26年3月	<b>（現時点）</b>	7.1億円	<b>（現時点）</b>	2.8億円
	<b>費用対便益（当初）</b>	<b>便益（B）</b>	99.5億円	<b>費用（C）</b>	81.1億円	<b>B/C</b>	1.23
<b>（現時点）</b>	<b>（現時点）</b>	76.7億円	<b>（現時点）</b>	66.5億円	<b>（現時点）</b>	1.15	
<b>1. 事業の目的</b>							
<p>大浜地区は、ファミリー層の人口減少に伴い、平成10年に博多部4小学校が統合され、当地区内の大浜小学校が廃校となっている。このため大浜小跡地と北側隣接地区（大浜地区住宅地区改良事業区域）を一体的に整備し、居住人口の確保やコミュニティ形成を目的とした都心居住型住宅の供給を図っている。また、住宅建設事業等大浜小跡地の整備とあわせて、道路、公園などの公共施設の整備を行い、総合的な住環境の改善を図ることを目的としている。</p>							
<b>2. 事業の進捗状況</b>							
<p>1. 経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成14年3月 大浜地区住宅市街地整備総合支援事業の整備計画承認</li> <li>○平成15年3月 大浜地区住宅市街地整備総合支援事業の事業計画同意（補助事業採択）</li> <li>○平成21年3月 密集住宅市街地整備促進事業と住宅市街地整備総合支援事業の統合に伴う、事業名称及び事業期間の変更</li> </ul> <p>2. 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校校舎解体（H15年度）</li> <li>○共同施設整備（H17年度） UR賃貸住宅アーベイン大浜の建設 1棟（70戸）</li> <li>○道路整備 大浜河畔道路整備 L=284m（全体375m）</li> </ul> <p>3. 進捗率 事業費ベース 約61%</p> <p>残事業 ○道路整備 L=91m ○街区公園整備 1,500㎡</p>							
<b>3. 事業を巡る社会情勢等</b>							
<p>本事業の核となる大浜小学校跡地の活用については、平成17年度に北側区域にUR賃貸住宅1棟（70戸）が完成し、また平成20年度には、道路整備の約7割が完成したことから、大浜地区のコミュニティの拠点及び憩いの空間として住民に活用されており、残事業についても早期整備が望まれる。</p>							
<b>4. 今後の方針</b>							
<p>事業継続</p> <p>当事業は、大浜地区の居住環境の改善を図るうえで重要なものであるため、残事業についても事業区域が隣接している大浜地区住宅地区改良事業と事業進捗をあわせながら、平成25年度の完成に向けて整備を推進していく。</p>							
<b>5. 委員会意見</b>							
<p>事業継続</p>							

# 再 評 価 資 料

## ②御供所地区街なみ環境整備事業

国土交通省所管

街なみ環境整備事業

福岡市 住宅都市局

## 平成21年度 事業再評価総括表

<b>整理番号</b>	②	<b>事業名</b>	御供所地区街なみ環境整備事業				
<b>事業主体</b>	福岡市	<b>事業種別</b>	街なみ環境整備事業（国土交通省所管）				
<b>担当課</b>	住宅都市局都市計画部都市景観室						
<b>事業概要</b>	<b>施工箇所</b>	福岡市博多区上呉服町、御供所町及び博多駅前一丁目の各一部		<b>事業規模（当初）</b>	28ha		
				<b>（現時点）</b>	28ha		
	<b>事業採択年度</b>	平成12年度	<b>用地買収着手年度</b>	—	<b>工事着手年度</b>	平成12年度	
	<b>当初</b>	<b>完成予定年度</b>	平成22年3月	<b>総事業費</b>	19億円	<b>残事業費</b>	— 億円
	<b>現時点</b>	<b>（現時点）</b>	平成27年3月	<b>（現時点）</b>	11億円	<b>（現時点）</b>	4億円
	<b>費用対便益（当初）</b>	<b>便益（B）</b>	— 億円	<b>費用（C）</b>	— 億円	<b>B/C</b>	—
<b>（現時点）</b>	<b>（現時点）</b>	33.3億円	<b>（現時点）</b>	10.8億円	<b>（現時点）</b>	3.08	
<b>1. 事業の目的</b>							
<p>「歴史と文化を生かしたまちづくり」をテーマに寺社境内地の歴史的環境の保全と、その周辺地区の寺社と調和した落ち着いた街なみの形成を目指した都市景観形成地区が平成11年に指定された御供所地区において、修景助成制度の活用や道路美装化を推進し、魅力ある生活環境の形成や歴史的な環境と調和した街なみ形成を官民一体となって進めていくもの。</p>							
<b>2. 事業の進捗状況</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>■住宅等修景助成 16件（全体26件）</li> <li>■寺社門塀の修景助成 11件（全体14件）</li> <li>■道路美装化（H12～） 約1,265m（全体 約2,100m）</li> </ul> <p>全体事業進捗率 69.1%（事業費ベース）</p> <p>残事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■住宅等修景助成 10件</li> <li>■寺社門塀の修景助成 3件</li> <li>■道路美装化 約835m</li> <li>■総合案内板の設置 1基（H22年度予定）</li> </ul>							
<b>3. 事業を巡る社会情勢等</b>							
<p>御供所地区は、歴史的建造物群や昔ながらの街なみが残り博多祇園山笠をはじめとする伝統行事など博多らしさを唯一残す地区であるが、近年においては、人口の流出や伝統的意匠を持った町家の減少が課題となっているため、修景助成制度を活用しながら、歴史的景観に配慮した住宅の改築・建替等が求められている。</p> <p>また、九州・アジア新時代の交流拠点都市とするためには、都心部における歴史や文化資源を活用する都市景観の形成を図ることが有効であり、道路美装と修景基準に基づいた沿道の寺社の門塀の修景助成による景観整備は、生活者と来訪者双方にとって質の高い固有の歴史的な空間づくりには重要かつ効果的であり早期完成が望まれている。</p>							
<b>4. 今後の方針</b>							
<p>事業継続</p> <p>今後も歴史的な資源を活かし、魅力ある生活環境の形成や歴史的な環境と調和した街なみ形成を進めていく必要があるため、平成26年度完成に向けて残事業を推進していく。</p>							
<b>5. 委員会意見</b>							
事業継続							

# 再 評 価 資 料

## ③名島城址公園整備事業

国土交通省所管  
都市公園等事業

福岡市 住宅都市局

## 平成21年度 事業再評価総括表

<b>整理番号</b>	③	<b>事業名</b>	名島城址公園整備事業				
<b>事業主体</b>	福岡市	<b>事業種別</b>	都市公園事業				
<b>担当課</b>	住宅都市局公園緑地部公園計画課						
<b>事業概要</b>	<b>施行箇所</b>	福岡市東区名島3丁目		<b>事業規模 (当初)</b>	7,137㎡		
				<b>" (現時点)</b>	7,218㎡		
	<b>事業採択年度</b>	平成11年度	<b>用地買収着手年度</b>	平成11年度	<b>施設整備着手年度</b>	平成16年度	
	<b>当初</b>	<b>完成予定年度</b>	平成21年3月	<b>総事業費</b>	8.8億円	<b>残事業費</b>	— 億円
	<b>現時点</b>	<b>"</b>	平成23年3月	<b>"</b>	8.5億円	<b>"</b>	0.4億円
	<b>費用対便益 (当初)</b>	<b>便益 (B)</b>	— 億円	<b>費用 (C)</b>	— 億円	<b>B/C</b>	—
<b>" (現時点)</b>	<b>"</b>	15.0億円	<b>"</b>	11.3億円	<b>"</b>	1.33	
<b>1. 事業の目的</b>							
<p>当該地は、旧名島城の本丸跡であり、緑豊かな名島風致地区内に位置しており、名島城址公園整備事業は、当該地に隣接する名島城址特別緑地保全地区と、一体的な緑地空間の形成を図るとともに、歴史・文化の薫る、印象的な緑の景色を育成することを目的とした公園整備事業である。</p>							
<b>2. 事業の進捗状況</b>							
<p>1. 経緯</p> <p>平成11年度～ 名島城址公園整備事業採択、用地買収着手</p> <p>平成12年度 用地買収完了</p> <p>平成13年度 基本設計・実施設計</p> <p>平成14年度～17年度 埋蔵文化財試掘調査</p> <p>平成16年度～17年度 施設整備着手</p> <p>平成18年度～20年度 埋蔵文化財本格調査</p> <p>平成21年度 平成20年度の繰越し予算で施設整備 「名島城址公園展望台あり方検討会」による展望台整備の検討</p> <p>2. 事業の進捗状況</p> <p>○用地取得 (H11～12年度)</p> <p>○施設整備 (H21年度～)</p> <p>3. 進捗率：95% (事業費ベース) 工事75% 用地100%</p> <p>残事業 ○施設整備 (展望台整備) H22年度予定</p>							
<b>3. 事業を巡る社会情勢等</b>							
<p>当該地は、旧名島城の本丸跡であり、眺望に優れ、博多湾を一望できるため、福岡市のアメリテイ百選にも選ばれているものである。</p> <p>当該事業は、歴史・文化の薫る、印象的な緑の景色を育成することを目的とした公園整備事業であり、当該地の眺望を活かすために展望台整備を計画しており、現在、地元関係者、学識経験者、市民団体等からなる「名島城址公園展望台あり方検討会」において、展望台整備について検討中である。</p>							
<b>4. 今後の方針</b>							
<p>・事業継続 今年度 (平成21年度)、「名島城址公園展望台あり方検討会」において展望台整備について検討し、平成22年度に当該地の景観を活用できるような展望台整備を行う。</p>							
<b>5. 委員会意見</b>							
事業継続							



# 再 評 価 資 料

## ④中央ふ頭地区道路①整備事業

国土交通省所管

港湾事業

福岡市 港湾局

## 平成21年度 事業再々評価総括表

<b>整理番号</b>	④	<b>事業名</b>	中央ふ頭地区道路①整備事業				
<b>事業主体</b>	福岡市	<b>事業種別</b>	港湾改修（特重）事業				
<b>担当課</b>	港湾局計画部事業推進課						
<b>事業概要</b>	<b>施工箇所</b>	中央ふ頭地区～須崎ふ頭地区			<b>事業規模（当初）</b>	1.4km、4車線	
					"（再評価点）	1.4km、4車線	
					"（現時点）	1.4km、4車線	
	<b>事業採択年度</b>	平成7年度	<b>用地買収着手年度</b>	-		<b>工事着手年度</b>	平成8年度
<b>当初</b>	<b>完成予定年月</b>	平成24年4月	<b>総事業費</b>	83億円		<b>残事業費</b>	-億円
<b>再評価時</b>	"	平成26年3月	"	94億円		"	70億円
<b>現時点</b>	"	平成32年3月	"	94億円		"	69億円
	<b>費用対便益（当初）</b>	<b>便益（B）</b>	-億円	<b>費用（C）</b>	-億円	<b>B/C</b>	-
	"（再評価時）	"	371億円	"	82億円	"	4.6
	"（現時点）	"	276億円	"	86億円	"	3.2

  

**1. 事業の目的**

本事業は、港湾と背後地域及びふ頭間の連絡を強化するとともに、中央ふ頭地区、博多ふ頭地区及び須崎ふ頭地区における交通需要に対応し、都心部ふ頭地区における円滑な物流・人流動線の確保を図るものである。

**2. 事業の進捗状況**

平成8年度～ 中央ふ頭～博多ふ頭間の2車線工事に着手  
 平成14年度 中央ふ頭～博多ふ頭間の暫定2車線供用  
 平成18年度～20年度 須崎ふ頭地区の2車線整備に係る調査・測量・設計  
 平成21年度～ 須崎ふ頭地区の2車線工事に着手（H23年全線2車線供用開始予定）  
 全体事業進捗率 27%（事業費ベース） ※残事業 全線の約1.4kmの4車線化整備

**3. 事業を巡る社会情勢等**

- ・ 本臨港道路は、アイランドシティから須崎ふ頭をつなぐ基幹臨港道路の一部であり、将来の交通需要に対応するため4車線で計画しており、道路の整備にあたっては、全区間の暫定2車線での供用を優先することとし、まずは中央ふ頭地区や博多ふ頭地区の再開発事業に合わせ、平成14年度に中央ふ頭～博多ふ頭間の供用を行った。
- ・ 引き続き須崎ふ頭地区に着手する予定であったが、当時、限られた予算の中で、アイランドシティ整備や平成17年の震災後の災害復旧事業を優先せざるを得なかったため、平成21年度から須崎ふ頭の整備に着手した。
- ・ 一方、博多港においては、近年外航船舶乗降人員数が約85万人と急増しており、また、外国籍大型クルーズ船が寄港を開始し、九州新幹線・韓国高速鉄道の全線開通とも相まって、今後も国際旅客の増加が予想されている。このため、中央ふ頭においては、平成20年度から、国際ターミナルの機能強化を図るため、岸壁、道路、交通広場等の整備を行っている。
- ・ 今後、中央ふ頭基部におけるコンベンションゾーンの機能強化や、東部臨海地区における港湾・都市機能の成熟により、臨海部における東西方向の交通需要の増加が予想されており、都市計画道路長浜臨港線の供用開始（平成24年度）に伴い、ふ頭間のみならず東西方向を結ぶ交通基盤として、本臨港道路の4車線化整備が一層重要となっている。

**4. 今後の方針**

事業継続

現在、交通容量の不足や博多ふ頭基部の築港交差点における変則的な交通処理により、慢性的に交通渋滞が発生しており、また、今後も港湾・都市機能の成熟に伴い交通需要の増加が予想されることから、円滑な物流・人流動線を確保するため、4車線化整備を行う。残るトンネル・橋梁を含めた整備については、用地・事業費の確保等の観点から期間を要するが、平成31年度の完成に向けて推進していく。

**5. 委員会意見**

事業継続